記録

日本保育学会記事

保育の理論的な発展を所期するため昭和二十三年創立された日本保育学会は、本年は第六回の大会を迎えた。

一、第六回大会

第六回大会は、昭和二十八年五月三十一日（日曜）午前九時より午後五時まで、日本女子大学講堂（東京都文京区高田豊川町）で開催された。そのプログラムは次のようである。

プログラム

開会の辞　会長　倉橋惣三

第一部　研究発表　午前九時半—午後〇時半
午后二時—三時

（〇印は共同研究における報告者）

一、絵本に対する五六才児の興味　日本女子大学　奥野あや子
　　〃　〇前田美和

二、乳幼児の発達段階に伴う保育方法についての一考察　西南学院短期大学　高橋さやか

三、幼稚園の道徳教育　東京学芸大学　稲毛卓

四、幼児の発育の季節的変動について—(1)幼稚園児—　お茶の水女子大学　〇平井信義
　　〃　千羽喜代子
　　〃　野田幸江

（一—四、座長　児玉省）

五、知能検査としての指テスト(Finger Test)の検討　愛知学芸大学　種橋正徳
　　一宮市浅井保育園　〇野崎とし子

六、遊戯におけるフラストレーションの表現　日本女子大学　児玉省
〃　○岡野伊津子
〃　斎藤愛子

七、幼児のことば―語彙の実態調査―　名古屋市立保育短期大学　甲斐久生
○渡辺紀久子

八、排便排尿の躾（トイレット・トレーニング）の調査　名古屋市立保育短期大学　珠川善子
一宮市葉栗保育園　○高島栄美子

〔五―八、座長　小川正通〕白木・桜井

九、幼児の生活慣習の早期樹立について　江東橋保育園　鈴木とく
東京都庁　○秋田美子
愛育研究所　平井信義

一〇、要求の心理から見た保育用品　愛知県立女子短期大学　江上秀雄

一一、音遊び　大阪基督教短期大学　小木曾光

〔九―一一、座長　荘司雅子〕

一二、幼児の相談事例について　愛育研究所　竹田俊雄

一三、年令別にみた乳歯ムシバ罹患程度　保育医学研究会　深田英朗

一四、両親から見た理想の保育者　頌栄短期大学　西本脩

一五、子供は両親に何を与えるか―ポツサートの研究を中心として―　大阪学芸大学　小川正通

一六、私立幼稚園の健康管理の一形態　栄光幼稚園　日名子太郎

〔一二―一六、座長　上村哲弥〕

第二部　総会　午後一時半―二時（別掲）

第三部　シンポジウム　午后三時―五時

「幼児保育と準備教育」　司会　山下俊郎

一、幼児教育のカリキュラムの立場から　日本女子大学　村山貞雄

二、幼稚園の立場から　音羽幼稚園　柿内三郎

三、小学校の立場から　成蹊小学校　滑川道夫

四、児童学の立場から　愛育研究所　平井信義

五、幼年教育の立場から　お茶の水女子大学　周郷博
（代読）根岸草笛

閉会の辞　副会長　小川正通

来会者はおよそ六五〇名、北は北海道より南は鹿児島にいたる全国各地より参集し会場に満ちあふれた盛会であつた。

北海道・東北	一〇	関東（除東京）	八三
東京	四二一	中部	五七
近畿	六〇	中国・四国	一四
九州	九		

なお、第三部をはじめる前に会場校学長大橋広氏の挨拶があり、また本大会を開催するにあたつては、会場校の児玉省委員をはじめ、上村、村山両委員、児童研究所、幼稚園職員および学生多数が大いに尽力された。

二、総　会

昭和二十八年度の通常総会は、右大会の第二部として開催され、倉橋会長を議長として議事が進められ、次のことが承認あるいは決定された。

一、昭和二十七年度事業報告
（報告）常任委員　竹　田　俊　雄

二、同　会計報告（別掲）
（報告）常任委員　村　山　貞　雄

三、昭和二十八年度事業計画
（説明）常任委員　竹　田　俊　雄
第六回大会開催、会報発行、研究会開催
共同研究実施等

四、同　予算　（別掲）
（説明）常任委員　村　山　貞　雄

五、役　員　改　選
別項の如く決定、（会長、副会長、常任委員、会計監査は大会後の委員会において決定）

六、第七回大会開催
昭和二十九年五月神戸において開催と決定

昭和２７年度会計報告

収入		
1.	前年度より繰越金	24.822円96銭
2.	会　　費	25.900円
3.	編 集 費	20.000円
4.	利　　子	276円87銭
	収入合計	70.999円83銭
支出		
1.	人 件 費	2.000円
2.	事 業 費	
	大会事業費	32.770円
	委員会・常任委員会費	1.126円
	交通・通信費	130円
3.	雑　　費	205円
	支出合計	36.231円
	差引残高	34768円83銭

昭和２８年度予算

収入		
1.	前年度より繰越金	34.768円83銭
2.	会　　費	35.000円
3.	編 集 費	20.000円
	収入合計	89.768円83銭
支出		
1.	人 件 費	2.000円
2.	事 業 費	
	第六回大会事業費	25.000円
	第七回大会準備費	20.000円
	共同研究費	20.000円
	研究会費	5.250円
	会 報 費	15.000円
	委員会・常任委員会費	1.000円
	交通・通信費	1.000円
3.	雑　　費	518円83銭
	支出合計	89.768円83銭

三、その他の活動

一、大会研究発表報告誌の発行

第五回大会研究発表報告誌は「幼児の教育」第五十一巻第九号（昭和二十七年九月）に特集の形で発行された。

二、会報の発行

昭和二十八年五月、「日本保育学会々報第二号」を発行した。この印刷はフレーベル館の好意によるものである。

三、共同研究

昭和二十八年度の共同研究は五月三十一日の委員会において左の二題目について行われることとなつた。

（イ）健康管理の実際に関する調査

（ロ）日本の幼児の発達規準

日本保育学会事務局
東京都港区盛岡町
愛育研究所内

役員（昭和二十七年五月選任）

会長 倉橋惣三　副会長 小川正通　山下俊郎

委員（○印常任委員）

秋田美子　○及川ふみ　大島文義
大西憲明　岡田志げの　◎小川正通
上村哲弥　城戸幡太郎　◎倉橋惣三
○児玉省　斎藤文雄　島津峯真
荘司雅子　周郷博　○鈴木とく
○鈴木信政　副島ハマ　○竹田俊雄
珠川善子　玉越三朗　根岸草笛
波多野完治　○平井信義　古木弘造
堀要　○松村康平　三木安正
宮内孝　○村山貞雄　○森脇要
守屋光雄　山崎ときの　◎山下俊郎
横田栄三郎　吉見静江

会計監査 牛島義友

「幼児の教育」九月号の定価について

「幼児の教育」九月号は、日本保育学会第六回大会の特集号と致し本大会の研究発表と記録を掲載致しました。このため本誌毎月の定頁（五二頁）を超過し、八六頁となりましたため、増頁に伴う臨時定価を六拾円とさせて戴きました。御諒承願います。

日本幼稚園協会

幼児の教育 第五二巻 第九号
定価 金六十円
昭和二十八年九月一日発行
東京都中野区千光前町一〇
編集兼発行者 倉橋惣三
東京都文京区大塚町三十五
お茶の水女子大学附属幼稚園内
発行所 日本幼稚園協会
東京都板橋区志村町五番地
印刷所 凸版印刷株式会社
東京都千代田区神田小川町二ノ五
発売所 株式会社 フレーベル館
振替口座東京一九六四〇番
○本誌御購読について注文申込その他はすべて発売所フレーベル館宛願います